

「2010年10月から2013年6月までの間に、川崎医科大学附属病院でカフ型カテーテルによる透析治療を受けられた患者さんへのお知らせ」

「課題名：透析用カフ型カテーテルの使用成績と問題点の解析」

川崎医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科学では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を得て、2010年10月1日から2013年6月30日の間に、当院でカフ型カテーテルによる透析治療を受けられた患者さんを対象として、診療当時の診療情報を用いて、カフ型カテーテルの使用状況に関する研究を行なっております。具体的には、カフ型カテーテルによる透析治療を受けられた患者さんのカテーテル挿入時の挿入方法、その後の管理方法、カテーテルの使用状況を調査し、カフ型カテーテルの最も良い使用方法について検討を行います。

この研究により、新たな検査を行うことはありません。また、個人が同定できる情報も収集いたしません。

研究を行うために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。今回の研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

データの利用を希望しない方、あるいはご質問のある方は、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学
TEL 川崎医科大学附属病院代表（086-462-1111）
腎臓・高血圧内科学教室（内線 27511）